

# たねダンゴ作り講座を開催しました

令和4年5月16日（月）に、「たねダンゴ作り講座」を開催しました。

花いっぱい運動登録団体の方と一般市民が12人が参加されました。調布市おもてなしガーデンの講師をされているグリーンアドバイザーの谷村伴子さんからたねダンゴの作り方を教わり、たねダンゴを作り、とりで公園の一角の花壇に播きました。残ったたねダンゴは持ち帰り、受講者の花いっぱい活動の花壇や自宅の庭等に播かれる予定です。調布市内が花いっぱいになることがとても楽しみです。

## 1 たねダンゴ®とは

土を泥ダンゴのように丸め、肥料を混ぜ込み、たねをまぶしたもの。たねを小鳥が食べてしまう・たねを播いても雨で流されてしまう等の不安を解消した手軽な種まきの手法です。



【講義の様子】

## 2 たねダンゴ®のメリット

- 1 風で飛ばされたり、雨でたねが流されにくい
- 2 ダンゴに保水性・保肥性があるため、最初の芽が出やすい
- 3 ダンゴを作ること自体が楽しく癒される
- 4 子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる

## 3 用意するもの

- ・ケト土 湿気に堆積した植物が腐敗して分解したもの。肥料分に富み、水もちがよい反面、水はけが悪い
- ・赤玉土 関東地方に広く分布する粘土質の火山灰土
- ・肥料 元肥として、ダンゴに練り込む。植物の根から出る酸で徐々に成分が溶け出し、効果が持続するタイプの肥料が適している。
- ・ケイ酸塩白土
- ・花のたね（今回は、コスモス、千日紅、マリーゴールド、ジニアを使いました。）



【たねダンゴ®の材料】

※ お日様が好きなものだけ等，植物の好みを合わせた方が良い。

#### 【春まきオススメのタネ】

マリーゴールド， ジニア（百日草）， コスモス， センニチコウ， ハゲイトウ， クレオメなど  
時期は， 4月下旬～5月下旬ごろ

#### 【秋まきオススメのタネ】

アグロステンマ（ムギナデシコ）， エスコルチア（ハナビシソウ）， カスミソウ， ネモフィラ，  
ヤグルマギク（セントーレア）， リナリアなど  
時期は， 9月下旬～10月終わりごろ

- ①ケト土7に対して赤玉土（小粒）3の割合で混ぜる
- ②水を少しずつ足していき，赤玉土の塊がなくなり，耳たぶ位の硬さになるように全体がなじむまで混ぜる。
- ③テニスボールのサイズに丸める。
- ④③を10個に分ける（キンカン位の大きさ）
- ⑤④にケイ酸塩白土（粒状）と肥料を中心部に入れる
- ⑥ダンゴの上部と底部にたねをまぶして丸める



【たねダンゴを混ぜる様子】

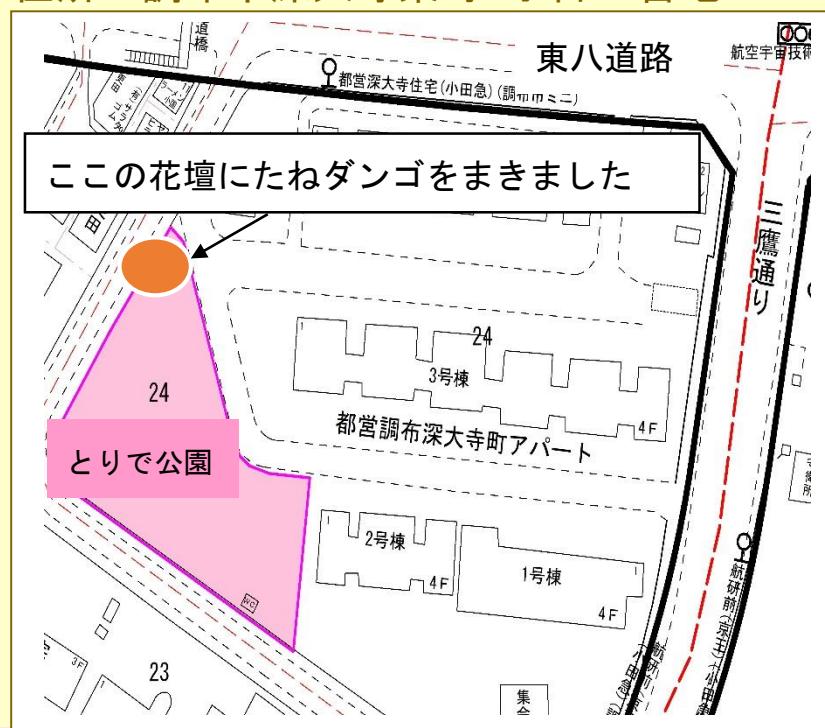
- ①たねダンゴを軽くつぶす（厚焼きクッキー状）
- ②つぶしたたねダンゴを土に埋める（うっすら土をかける程度）
- ③たねダンゴの間隔は，春まきで約40センチ，秋まきで約30センチ



【たねダンゴを植える様子】

#### 【とりで公園】

住所：調布市深大寺東町8丁目24番地20



とりで公園の近くに行かれたら，是非，花壇の様子をご覧ください。